第52号

小野の福祉だより

小野地区社会福祉協議会機関誌

発　行
小野地区社会福祉協議会
郵便番号：791-0244
住所：松山市水泥町972-1
電話：976-1200
発行責任者：青木　良一
印刷所：宮内企画

ウィズコロナと生活様式の変化

小野地区社会福祉協議会
会長　青木　良一

小野地区社会福祉協議会が現在地に事務所を移し、サロンを開設してから十八年目を迎えようとしています。この間に世の中も変わり、サラリーマンの夏スーツ姿、ネクタイそして扇子が姿を消しました。スーツからネクタイがなくなり当初は変な感じでしたが、今や違和感も感じません。

そして、新型コロナウイルス感染症がまん延し、サロンもたびたび閉館を余儀なくされました。今は第七波かと言われ、急激に感染者が増加しております。そんな中でマスクの使用は今やエチケットとして定着し、食事は黙食、周りをパーテーションに囲まれたコロナ感染症対策が定着してきました。

ウィズコロナの掛け声と共に、変わった社会生活の実践が進められています。感染を防止するとともに、社会生活・経済を維持していく流れは否定できません。

この変化は、マスクによるお互いの拒絶感と、互いの感情を読み取ることが困難を極めています。ましてや間にパーテーションがあれば、なお一層強調されます。

幼子への笑みも、マスク越しでは伝わりません。多感な育ちざかりの小学生など、将来どんな大人になるのか心配です。

小学生のサッカー練習を見る機会があり、従来であれば中止のはずですが、熱中症防止もあり、マスクもせず密となり練習をしており、これもウイズコロナの取り組みでしょうか。うれしく感じました。

一方サロンを利用される高齢者においては、身近に接することが難しく、サロン本来の目的である「ふれあい」が阻害され、趣味を通じての会話や、寄り添いができません。

ウイズコロナの取り組みは大切ですが、新しい生活様式に定着せず、早くマスクやパーテーションをなくし、気軽にサロンを利用できる「いつもの生活」となり、十二月二十三日のサロン十八周年が迎えられることを祈ります。

就任のご挨拶

松山市役所小野支所
支所長　安井　晋

小野地区社会福祉協議会の皆さまにおかれましては、小野地区地域福祉活動計画のもと〝心響きあう♡与力の里〟を基本理念として掲げ、日々、様々な活動等に御尽力をいただいていますことに厚く御礼を申し上げます。

私は、令和４年４月に松山市役所小野支所長として着任致しまして約３か月が経過しました。ご承知のように新型コロナウイルス感染症による影響を受け、複数年に亘り、様々な会議や地域活動の縮小・自粛などが余儀なくされてきました。本来であれば、皆さまに直接お会いをして御挨拶を申し上げるところではありますが、本誌「小野の福祉だより」での御挨拶となりますことをお許しいただければと存じます。

さて、近年の社会情勢に目を向けますと、冒頭でも触れました新型コロナウイルス感染症の影響により、人の移動をはじめとする日常生活への制限等が加わることで、これまで当たり前に感じてきた毎日の生活スタイルが大きく様変わりしました。さらには少子高齢化の急速な進行をはじめ、家庭や地域、学校などといった身近な場所でのコミュニティの希薄化などの課題も取り沙汰され、地域を取り巻く環境も目まぐるしく変化してきています。

こうした中で、小野地区社会福祉協議会の皆さまが中心となって、地域の子どもからお年寄りまで幅広い世代に目を向け、地域にお住まいの皆さまが主体となった活動を推進いただいていることは非常に重要で意義ある取組みであり、心強さを感じている次第です。

今後とも、皆さまにおかれましては、関係機関や各種団体、法人などとの連携を一層深めながら、小野地区で暮らす一人ひとりが住みやすいと実感できる地域づくりに向け、地域の強みを生かした新たな取組みに期待しますとともに、皆さまの益々の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

チョイソコおのくめ　快走中！

四国交通＠チョイソコおのくめ
メインドライバー　**鈴木 誠治 さん**

好きな食べ物は
カレーライスとエビフライ
「笑顔をこころがけて
がんばります！」

二神タクシー＠チョイソコおのくめ
メインドライバー　**二神 由美 さん**

好きな食べ物は
ビールと餃子
「安心安全性モットーの運転を
こころがけています！」

チョイソコおのくめを利用するためには
NPO法人まるっとおのくめの会員登録が必要です

年会費￥1,000　月会費￥3,000

詳しくはお問い合わせください
089－976－5638
（愛媛生協病院 地域事業課まで）

協力企業 大募集！
運行エリア内（小野・久米地区及びその端から500M）の企業や事業所のみなさんへ

チョイソコを運営するのはNPO法人まるっとおのくめ。まるっとおのくめは公的な福祉サービスや公共施策では手が届かない部分のサポートを地域の互助・共助の精神で取り組んでいます。エリア内で事業を展開する方々も小野久米地区の一員として、ぜひ仲間になってください！！
問合せ 090-4087-0547（まるっとおのくめ事務局　担当　阪本）

「小野ジュニア育成会」への協力金のお願い

小野ジュニア育成会
会長　上田　大祐

小野地区の皆様におかれましては、日頃から小野ジュニア育成会の活動にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。小野ジュニア育成会の活動としまして小野小学校、小野中学校の子供たちがスポーツや文化活動において全国大会出場などの際に支援をさせていただいています。そしてこの支援活動は全て皆様のご寄付にて運営させていただいております。昨年、一昨年とコロナの影響を受け、全国大会の中止など子供たちの活躍の場も少なくなっていましたが、徐々に大会も再開されコロナ前に戻りつつあり、ますますの活躍が期待されます。この状況の中で子供たちは大会等へ参加できることへの感謝や、地域の皆様から支援いただいていることへの感謝の気持ちが育まれていることを感じます。今後は、学校活動の支援等、更に多くの子供たちを支援していきたいと思っておりますので、今後とも小野ジュニア育成会へのご協力をお願い申し上げます。

1．協力金　一口500円
（何口でもかまいません）
※随時受け付けております。

2．申し込み及び集金方法
①役員が集金に伺います。ジュニア育成会事務局までご連絡をください。
②御面倒でなければ小野公民館か小野ＰＴＡ事務局（小野小学校内）へ申込書と現金を封筒に入れ提出してください。

お問い合わせ：ジュニア育成会事務局（小野小ＰＴＡ事務局976－0840）

助成内容は次の通りです。

令和３年度　小野ジュニア育成会（小野小・中学生への助成）

	支出対象者	活動内容	開催場所	開催年月日
小野小学校	5年	第38回四国小学生テニス選手権大会	徳島県	2021/5/9
	5年	全国選抜ジュニアテニス選手権大会	千葉県	2021/5/13
	5.6年（3人）	第40回四国ジュニアテニス選手権大会	徳島県	2021/7/10
	6年	第8回全日本UJボクシング王座決定戦	和歌山県	2021/8/21
	男子	第45回全関西ミニバスケットボール交歓大会	広島県	2021/8/7～9
	6年	第35回全日本小学生女子ソフトボール大会	宮崎県	2021/7/31
	5年	令和3年度全国小中学生テニス選手権大会		
	6年	全農杯2021年全日本卓球選手権大会	兵庫県	2021/7/22～25
	6年	JOCジュニアオリンピックカップ（卓球）	愛知県	2021/10/29～31
	女子	第19回スポーツ少年団バレーボール交流大会	島根県	2022/3/27～30
小野中学校	2年	第38回四国中学生テニス選手権大会	徳島県	2021/5/9
	2年	第40回四国ジュニアテニス選手権大会	徳島県	2021/7/10
	1～3年	第59回四国中学校総合体育大会（男子テニス）	徳島県	2021/8/7.8
	1～3年	第59回四国中学校総合体育大会（女子バレー）	高知県	2021/8/7.8
	1～3年	令和3年全国中学校総合体育大会（女子バレー）	埼玉県	2021/8/19
	3年	高円宮杯JFA第33回全日本U-15サッカー選手権大会	群馬県	2021/12/11～22
	3年	第30回JOCジュニアオリンピックカップ（ハンドボール）	徳島県	2021/12/23～26
	3年	JOCジュニアオリンピックカップ（女子バレー）	大阪府	2021/12/25～28
	2年	第59回全国中学校スキー大会	長野県	2022/2/1～4

寄付のお礼

まつイチ体操教室御一同様
金一封（寄付 6月8日）

表彰者の紹介

R4.6.16㈭　第35回松山市民生児童委員会　松山市民生児童委員協議会会長表彰
優良民生委員・児童委員
熊野千恵　・　仙波　修　・　藤岡　真須雄

R4.7.1現在の小野のようす

人口（人）	16,923	男	8,058
		女	8,865
世帯数（戸）	7,142		
65歳以上（人）	5,511		
高齢化率（%）	32.6		

小野川柳クラブ

仙波　草苑　選

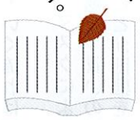
戦話は
オフにしましょう千羽鶴
山本　弥生

棘を抜こう
とがった声が鈴になる
家安　英子

ワイングラスの
底で誓いが揺れている
大北　美樹

小野川柳クラブ
毎月第四土曜日　小野公民館

令和四年度小野地区社会福祉協議会の、役員は左表のとおりです。
小野の福祉のために精一杯努力いたします。
なにとぞよろしくお願いいたします。



松山市社会福祉協議会

↓

小野地区社会福祉協議会

理事会

社会福祉協議会会長	青木　良一
〃　副会長	柚山　治夫
〃　副会長	宮内　順三
公民館館長	重信　昭雄
南梅本町区長	高市　和佳
平井町区長	藤本　悌次
水泥町区長	山崎　和水
公民館分館長会長	原田　新士
中学校校長	土居　浩
小学校校長	田所　秀一
学識経験者	桑原　英信
〃	宮内　正民
身体障がい者協会校区長	小椋　英雄
元平井町商店会監事	豊田　宣雄
小学校ＰＴＡ会長	藤本　幸大
中学校ＰＴＡ会長	上田　大祐
梅本の里施設長	杉本　太一
ていれぎ荘施設長	木戸　敏満
監事	重松　郁子
〃	奥村　芳樹
顧問	宮内　敏浩
〃	宮内　久司
事務局長	渡部ゆかり

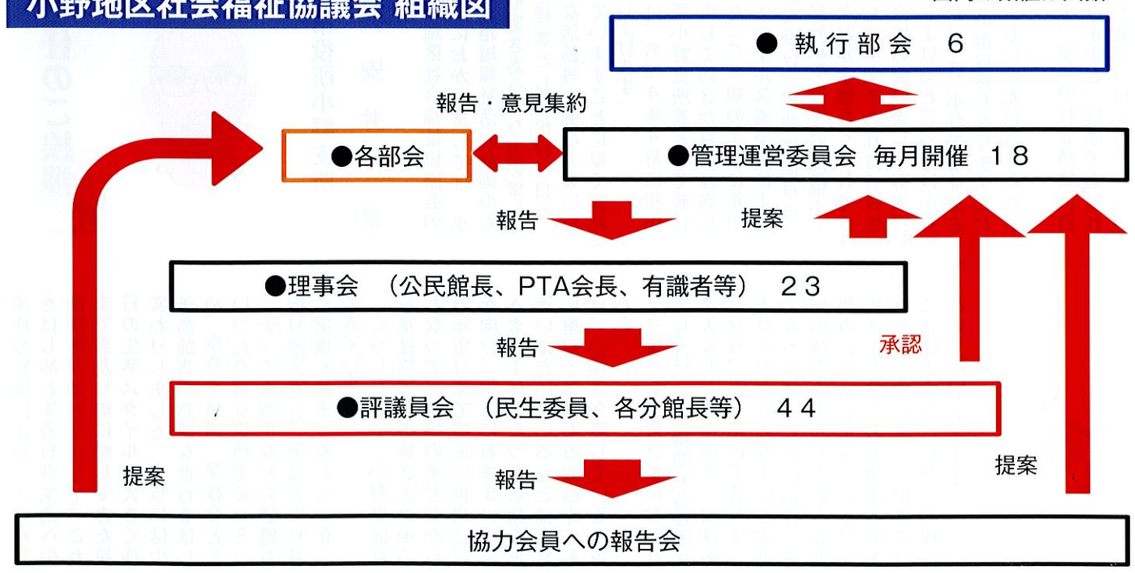
↓

評議員会

小野谷分館長	森貞　眞二
駄場分館長	宮内祥二郎
向井分館長	佐伯　決
太尺寺分館長	奥村　秀彦
北梅本北分館長	宮内　健作
北梅本仲分館長	森定　孝夫
北梅本南分館長	村上　勇二
大野分館長	森岡純一郎
南梅本分館長	玉川　洋男
南梅本団地分館長	勝谷　雄三
平井分館長	渡部　亨
五楽分館長	竹田　健一
今吉分館長	杉本　勝
上苅屋分館長	武智　勇司
古市分館長	森田　信明
畑中分館長	中田　誠志
上開分館長	山本　貞夫
水泥分館長	井上　俊彦
日尾分館長	前田　敬三
緑野分館長	難波江三根子
民生委員・児童委員	二十四名

小野地区社会福祉協議会 組織図

図内の数値は人数



夢をもつ 愛顔いっぱいの 小野っ子に

松山市立小野小学校
校長　田所　秀一

皆様方におかれましては日頃から教育活動にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

私は、松山市立伊台小学校から四月に転任して参りました校長の田所秀一と申します。今年度、私を含め十三名の教職員が新たに小野小学校の一員となり、これにより六十名余の教職員及びスタッフが「チーム小野」として教育に当たっております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和四年度が四月に始まり、百三十八名の一年生が入学し、全校児童九百十名でのスタートとなりました。

始業式で私は、校訓の「よく考えがんばる子」「りっぱな行いやさしい子」「きまりを守る元気な子」を実現させるために、「夢」をもち、「愛顔」を忘れず、「命」を大切にする小野っ子になってほしいと話をしました。コロナ禍、感染への不安はもちろん、どこかに閉塞感があり、先が見通せない感覚に陥りがちです。そのような中でも、子どもたちには、夢をもってほしいと願っています。将来に向けての夢、具体的には、将来、「こんな職業につきたいという夢」「こんな大人になりたいという夢」「こんなことをしたいという夢」。これらは未来に向かっての大きな夢ですが、将来といっても、もっと身近に考えてもいいかもしれません。「一日一回は発表したい」「あのチームに勝ちたい」「低学年にやさしくしたい」等々。ぐっと夢が目標のようになってきました。この小さい目標の積み重ねが、大きな夢につながっていくと思います。大リーグで活躍している大谷翔平選手が高一の時に書いた目標達成シートは、真ん中の「ドラフト一位指名八球団」を達成するため必要な要素を八つ、また、それらを達成するための具体的目標をそれぞれ八つ書き込んでいました。大谷選手は、なるべく具体的に、また少し高い目標を書き込むようにしたと話しています。一つの大きな目標を達成するために必要な要素を細分化し、「かなえたいこと」への道のりをスモールステップの目標で実現に結び付けました。夢への道のり、ロードマップだったということです。

小野小学校は百三十二年目を迎えました。この長い歴史の中で、小野の地で育ち、育てていただいている子どもたちには、地域の方々の思いや願いが届いてほしいと思います。そして、この「ふるさと小野」を愛する子どもに育ってほしいと切に願っています。保護者の皆様、地域の皆様方におかれましては、これまでと変わらず、本校教育に対する深いご理解と温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

「コロナに負けるな、小野地区の活力復活」

小野体育協会理事長
小野公民館スポレク部長
村上　考

新型コロナウイルス感染が発生してから約二年半、社会ではすべてが自粛傾向にある中、地域コミュニティにおいても地区行事やスポーツ・文化活動等が中止や延期となり、残念なことに地域の皆さんともお会いする機会がめっきりと少なくなってしまいました。

まだまだ感染拡大は収まるところを知りませんが、これまでのワクチン接種の普及やウィズコロナの取り組みによって、社会でも少しずつ日常を取り戻しているようです。

ここ小野地区でも、秋の地方祭、地区体育祭や文化祭等、徐々に再開することになり、地域の中でも活気が戻りつつあります。

特に十月二十三日に予定している地区体育祭では、各分館や住民の方々のご理解とご協力のもとで、感染回避措置やプログラムの縮小、出場選手の参加制限を設ける形で、何とか開催できるよう取り組んでいます。

今後の感染状況では予断を許さないところですが、地域の盛り上がりには大事な行事として、再開できるよう頑張っていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、地区の活動とは別の事ですが、個人的に、「スポーツウエルネス吹矢」と「ペタンク」の普及に努めています。

誰もが気軽に体験できるような軽スポーツを生涯スポーツとして、地域のサロンや高齢者クラブ等で身近に感じてもらって、福祉における介護予防として、お役に立てればと考えております。

本格的な普及活動は未定でありますが、コロナ前のように公民館で体験会が開催できればと願っていますので、その折には奮ってご参加ください。

最後に、地区文化祭も再開することとなり、それに伴い村芝居も三年ぶりに復活します。

役者の都合や稽古の仕方など、大事なところで調整がつかず、三年前に準備していた長編大作の公演はできなくなりましたが、毎回、楽しみにされているご贔屓の方々のためにも、新しい脚本を作成中です。

秋祭り以降、本格的に稽古を始めて、来る十一月下旬ごろ「小野与力一座」の本番公演の予定です。乞うご期待！

ご来場をお待ちしております。

※令和四年七月一日寄稿されたものです。